



2015年7月14日

各 位

興和株式会社  
中外製薬株式会社

## 肝細胞がん再発抑制剤「ペレチノイン(開発コード:NIK-333)」の 国内におけるライセンス契約の締結について

興和株式会社[本社:愛知県名古屋市/代表取締役社長 三輪 芳弘](以下、興和)および中外製薬株式会社[本社:東京都中央区/代表取締役会長 最高経営責任者:永山 治](以下、中外製薬)は、肝細胞がん再発の抑制剤として興和が開発中の「ペレチノイン(開発コード:NIK-333)」の国内におけるライセンス契約を本日締結したことをお知らせいたします。

本契約により、興和は「ペレチノイン」の製造販売承認を取得し、中外製薬は興和が供給する製品を国内で独占的に販売することになります。また、興和は本契約の対価として契約一時金と所定のマイルストーンペイメントを中外製薬より受領いたします。

日本において約4万人の方が毎年新たに原発性肝がんと診断され、約3万人の方が亡くなっており、がんによる死因の第5位となっています。原発性肝がんのうち、肝細胞がんが約94%を占めており、根治術後の再発率は術後1年目までで30.1%、3年目までで62.3%、5年目までで79.0%と報告されています。

「ペレチノイン」は、主にレチノイド核内受容体を標的分子とする、ビタミンA様構造を有する経口非環式レチノイドで、肝細胞がんの再発抑制を目的とした薬剤としては世界初となります。

興和と中外製薬は、「ペレチノイン」の市場導入により、いまだ満たされていない医療ニーズにお応えし、新たな治療機会を提供することで、患者さんをはじめご家族や医療関係者の皆様に貢献できるものと期待しております。

以上

本件に関するお問い合わせ先	
興和株式会社 広報部 Tel : 03-3279-7392	中外製薬株式会社 広報IR部メディアリレーションズグループ Tel : 03-3273-0881

## 興和株式会社について

1894年に綿布問屋として名古屋市で創業し、関係会社約100社を有するグローバル複合企業グループとして展開しています。主に医療用医薬品・OTC 医薬品・ライフサポート品・環境関連製品(LED 照明・再生可能エネルギー発電システム)等の製造販売を行うメーカー部門と、繊維製品をはじめとする生活物資や機械・建材・化学品等の販売を行う商社部門において、積極的な事業活動を展開しています。医療用医薬品事業につきましては、高コレステロール血症治療剤「リバロ」、糖尿病治療剤「デベルザ錠」、「スイニー錠」を中心とする代謝・循環器領域において、興和創薬株式会社を通じて情報提供活動を行っています。研究開発面では生活習慣病領域、免疫・炎症領域、感覚器領域を重点領域としています。OTC 医薬品・ライフサポート品事業につきましては、興和新薬株式会社が「キャベジンコーワ」、「バンテリンコーワ」、「三次元マスク」などを提供することで、生活者の健康の維持と管理に役立てていただいております。

興和に関するさらに詳しい情報は<http://www.kowa.co.jp> をご覧下さい。

## 中外製薬について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の東京証券市場一部上場の製薬企業であり、ロシュ・グループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開しています。特に「がん」領域を中心に、アンメット・メディカルニーズを満たす革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。

国内では、御殿場、鎌倉の研究拠点が連携して創薬研究活動を行う一方、浮間では工業化技術の研究を行っています。海外では、シンガポールに拠点を置く中外ファーマボディ・リサーチが革新的な抗体創製技術を駆使し新規抗体医薬品の創製に特化した研究を行っています。また、米国と欧州では、中外ファーマ・ユー・エス・エー、中外ファーマ・マーケティングが臨床開発活動を行っています。2014年の連結売上高は4,611億円、営業利益は773億円(Coreベース)でした。

中外製薬に関するさらに詳しい情報は<http://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧下さい。